



NAPA VALLEY
CULTIVATING EXCELLENCE

プレスキット

ワイン産地ナパヴァレーについて

ナパヴァレーは常に最高品質のワインを生み出す地として高く評価されています。常に高い志を持ち、率先して環境活動に取り組みナパヴァレーの人々の生活の質を向上させることを目指し活動しています。

ナパヴァレーヴァイントナーズ非営利生産者団体は1944年の発足以来、最高品質のワインを生産すること、率先して環境活動に取り組むこと、故郷の地ナパヴァレーに貢献すること、これらの重要性を525を超える会員に説きながら努力し続けています。



ナパヴァレーの概要

ナパヴァレーと言えば世界最高級ワインの代名詞です。ナパヴァレーはサンフランシスコの北80キロメートル、太平洋の東56キロメートルに位置し、西側のマヤカマス山脈と東側のヴァカ山脈に挟まれています。ヴァレーフロアと呼ばれる谷床の平地の広さは南北に50キロメートル、東西は最も広い所でも8キロメートルしかありません。

ナパヴァレーは1981年にカリフォルニア州で初めてアメリカぶどう栽培地域 (AVA) に認定されました。ナパヴァレーAVAはさらに16の細かいAVAに区分され、それぞれに独自の特性があります。ナパヴァレーの気候は高級ワイン用ぶどうの栽培にとても適しており、世界のワイン産地と比べてもその土壌は大変多様性に富んでいます。

カリフォルニア全体のワイン生産量のうちナパヴァレーのワインが占める割合はたった4%に過ぎません。またナパヴァレーのぶどう栽培面積はナパ郡の総面積の9%である4万5000エーカーしかありません。ナパヴァレーでは、年間の生産量は1万ケース未満のワイナリーが大半を占め95%が家族経営です。ナパヴァレー全体ではおよそ475のワイナリーが年間900万ケースを生産し、1,000を超える銘柄が存在します。

16 AVAs

ナパヴァレーAVA
の中にはさらに16の
AVAがあります。

475

ナパヴァレーには
475のワイナリー
施設があります。





歴史

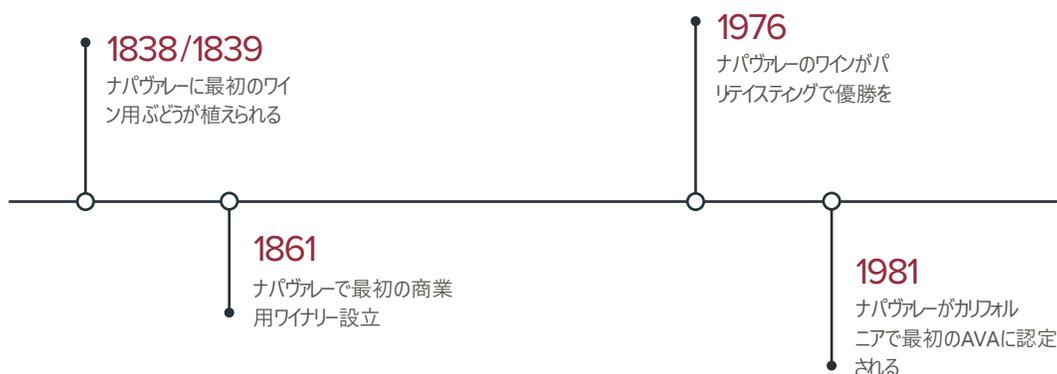
ナパヴァレーのワイン造りの歴史は1838年～1839年にジョージカルヴァートコートが最初の商業用のぶどう畑を開墾したことで幕を開けられた。

1849年にカリフォルニアでゴールドラッシュが始まると西海岸の人口は爆発的に増えアメリカでワイン造りに挑戦しようと考えたヨーロッパの移民がナパヴァレーにやって来ました。1861年にはチャールズクリュッグがナパヴァレーに最初の商業用ワイナリーを設立しました。ナパヴァレーで操業するワイナリーの数は1889年には140を超え、ぶどう栽培面積は1万6,000エーカー近くにまでなりました。

しかしその後ナパヴァレーは数々の試練に見舞われます。フィロキセラの影響で1900年にはナパヴァレーのぶどう栽培面積は2,000エーカーにまで落ち込み、1906年にはサンフランシスコ地震に見舞われまた深刻な不況、世界第一次大戦勃発、禁酒法の制定、大恐慌、世界第二次大戦等がかつて活況を呈したワイン産地に深い爪痕を残しました。

それでも数軒のワイナリーが生き延びてナパヴァレーのワイン産業は徐々に息を吹き返していき、1933年にはルイ・M・マルティニ・ニワイナリーが開業し、禁酒法が廃止されるとベリンジャー・ヴィンヤーズとボリーユ・ヴィンヤードが復活しました。1938年には伝説のワインメーカー・アンドレ・チエリ・チエフがナパヴァレーにやって来ました。1939年にジョージ・ダニエル・ジュニアがイングルヌックを継ぎ、1952年にはストーン・ヒルが最初のぶどうを収穫しました。1961年にはジョー・ハイツがぶどう畑を購入し、1966年にはロバート・モンダヴィがワイナリーを設立しました。

1976年のパリティ・テストによってナパヴァレーの名が世界に知れ渡り、ナパヴァレーは1981年にアメリカぶどう栽培地域に認定されました。ナパヴァレーはその後、着実に成長を続け、ワイン産地の最高峰の一つとして世界中で支持されています。





環境維持プログラム 「ナパグリーン・ランド」と 「ナパグリーン・ワイナリー」

ナパグリーンはナパヴァレーのぶどう畑とワイナリーを対象に独立した第三者が認証する包括的な環境維持プログラムです。

同プログラムは2000年代初頭にナパヴァレーヴァイントナーズナパヴァレーぶどう栽培者団体ファームビューロナパ郡シエラクラブ、河川同友会 (Friends of the River) 国立海洋漁業サービスをはじめ20以上の利害関係者や地域の指導者が協力して設置したもので2004年にナパグリーンランドの第一号が誕生し2008年にナパグリーンワイナリーの第一号が誕生しました。

ナパグリーンランドの認証を受けるためには、土壌の維持、浸食防止、有害物質の使用と流出の削減、節水、そして野生生物の生息環境を回復させるための施策を（ぶどう畑だけでなく敷地全体に実行する必要があります）ナパグリーンワイナリーでは、資源の保全、廃棄物の抑制、作業効率改善に100以上の施策が実践されています。

今日、7万2,000エーカーを超える敷地がナパグリーンランドプログラムに参加しておりナパヴァレーのぶどう畑の45%以上がナパグリーンランドに認定されています。また60を超えるワイナリーがナパグリーンワイナリーに認定されています。2015年にNVVは2020年までにプログラムの対象となる全てのNVV会員がプログラムに参加することを目標に掲げました。2017年現在、目標の半分まで達成しています。

NAPA GREEN

>50%

ナパヴァレーの
ぶどう畑の50%
がナパグリーン
ランド

60+

60以上のワイ
ナリーがナパグ
リーンワイナリ

50%

NVV会員の50%
がナパグリーン
プログラムに
参加





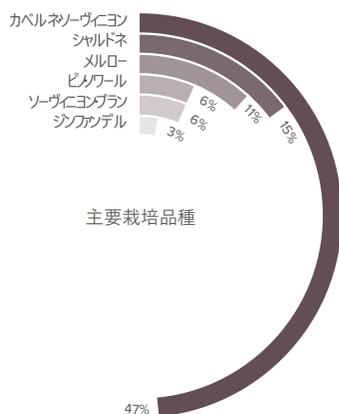
ワイン造りとぶどう栽培

ナパヴァレーで最も多く栽培されているのがカベルネソーヴィニヨンでカベルネソーヴィニヨンはナパヴァレーのぶどう収穫量全体の40%、収穫高全体の60%を占めています。その一方で多様な土壌と極小気候のおかげで多くのぶどう品種を栽培することができるナパヴァレーでは、冷涼なカーネロスで栽培されるアルパリーニョから温暖なカリスタガで栽培されるジツファンデルまで35を超える品種が栽培されています。

ナパヴァレーは革新的で品質を重視したワインで知られ、ナパヴァレーのワインの造り手は革新的なぶどう栽培方法を積極的に取り入れることで高く評価されています。ナパヴァレーでは伝統的な栽培方法と最先端技術のどちらをも採用してぶどうを栽培しています。水が入手しにくい丘陵地（ヒルサイド）の畑では干ばつに強い台木が植えられ、コンピューターを使ってぶどうの木一本一本をリアルタイムで監視しています。ただし大半のぶどう畑では手入れも収穫も手作業で行われており、栽培期間中に一本のぶどうの木あたり10回以上人の手が入ることも珍しくありません。

そして実った質の高いぶどうは、熟練のワインメーカーの手によって世界クラスのワインに変身します。発酵を少量単位で行うなど、細部にまで気を配り、さらに光センサー選果機などのハイクラス機器も利用して最高のぶどうだけを使ってワイン造りが行われています。最高級のオーク樽はワインの果実味を引き立てます。

ワインメーカーは決して現状に甘んじることなく、他の酵母菌株や発酵容器を試してみたり、新しい機械を使ってみたり、別の樽会社のオーク樽を利用してみたりするなどして、常に試行錯誤を繰り返しながらさらなる品質向上を目指した努力を続けています。



\$4,767 2016年
ナパヴァレー産ぶどう
1トン当たりの平均価格



カベルネソーヴィニヨン



土地の保護と管理

総面積50万4,450エーカーのナパ郡でぶどう畑が占める面積は9%（4万5,000エーカー）に過ぎません。ナパ郡の90%が開発から恒久的または非常に厳しい基準で守られています。ナパヴァレーの美しく牧歌的な景色や自然環境を後世に残すためにワインの造り手が率先して保護活動に取り組んでいます。

ワインの造り手と地域の指導者の協力のもと、1968年にはアメリカで初となる農業用地保護法が制定され、3万2,000エーカー以上におよぶ土地を保護することに成功しました。1990年にはナパ郡ワイナリー定義条例が発効し、ワイナリーの活動は農業に直接関係する内容に限るとする厳格なガイドラインが設けられました。その翌年には地域の環境をさらに手厚く保護するために、丘陵地農業条例と流域セトバック条例をはじめとする複数の保護規定が制定されました。近年ではワインの造り手がぶどう畑の土地も含めて所有地を自主的に手放し、ナパ川に沿った広範な敷地の回復に協力しています。

ナパ郡の土地信託を通して、ワインの造り手をはじめとする土地の所有者が指定された区画の恒久的な利用方法を定めた保護地役権に自らの土地を差し出しています。これにより、6万5,000エーカー以上の敷地が緑地や農業用地のために永久に保護され、さらに7万5,000エーカーが農業用地と緑地の維持を奨励するウリアムソン法令によって保護されています。

1968 ナパヴァレー農業用地
保護法の制定

1990 ワイナリー定義条例発効

1991 保護規定制定





経済的影響

小さな地域でありながらナパヴァレーのワイン産業は大きな影響力を持っています。カリフォルニア州のワイン用ぶどう収穫量のうちナパヴァレーのぶどうが占める割合はたったの4%に過ぎませんが、しかしながらナパヴァレーで造られたワインの価格の合計額はカリフォルニアで造られたワイン全体の27%にも上ります。

ナパヴァレーのワイン産業は地元で4万6,000人の雇用を創出し、ナパ郡における年間経済効果は130億ドル以上です。全米に及ぼす年間経済効果は500億ドルで、30万人の雇用を生み、賃金の合計額は92億ドルに及びます。

さらにナパヴァレーのワイン産業は25億ドルの州税と地方税を納め、27億ドルの連邦税を納めています。ワインの造り手による慈善事業への寄付金総額は年間で8,400万ドルを超え、この中にオークションナパヴァレーの収益は含まれていません。地元観光業の成功はナパヴァレーのワイナリーに負うところが大きく、ナパヴァレーのワインと美しい景色を、世界的に有名なナパヴァレーのおもてなしを求めて、年間350万人がナパヴァレーを訪れます。

\$130 億

ナパヴァレーワイン業界が地元にもたらす年間経済効果

46,000

ナパヴァレーワイン業界が地元で生み出す雇用

\$500 億

ナパヴァレーワイン業界が米国経済にもたらす年間経済効果

300,000

ナパヴァレーワイン業界が米国で生み出す雇用

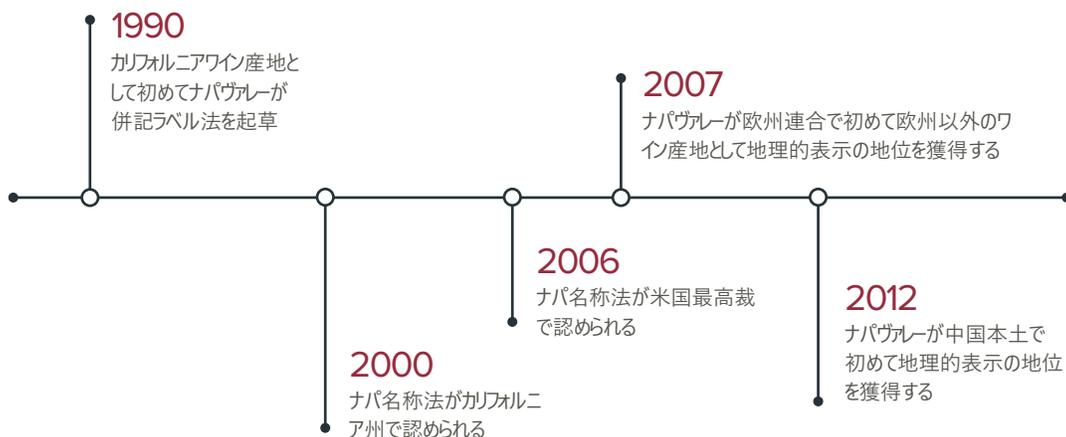


ナパの名称保護

「ナパヴァレー」は単なる地名に留まれません。ナパヴァレーはアメリカぶどう栽培地域 (AVA) に指定されています。ナパヴァレーヴァイントナーズはナパヴァレーの名称を使う権利のある人々のため、そして、偽造品が出回るのを防ぐために、名称を保護するべく尽力しています。

ナパヴァレーのぶどうを使っていないのにラベルにナパヴァレーのぶどうが使われているような表示をすることは禁じられています。消費者を混乱させないためにも誤解を招くラベルの使用を阻止しなければなりません。調査結果からナパヴァレーのぶどうが使われていないのにナパと銘柄表示があると消費者が混乱することがわかっています。

NVVの働きかけによって1990年にはアメリカで初の併記ラベル法が制定されました。NVVは2000年にナパ名称法を起草し、2006年に米国最高裁で主張が認められるまで闘いを続けました。2007年には欧州連合に働きかけ、欧州以外のワイン生産地として初めて地理的表示の地位を獲得しました。2012年には中国でワイン生産地として初めて地理的表示の地位を獲得しました。NVVは同様の地位を12以上の国で獲得しており、ナパヴァレーの名称が不当に使用されることがないよう、世界の商標利用の監視を続けています。





テロワール

ナパヴァレーの多様な土壌とぶどう栽培に理想的な気候、そして変化に富んだ地形の組み合わせは、種類豊富で質の高いワインを安定的に生産するのに大変適しています。

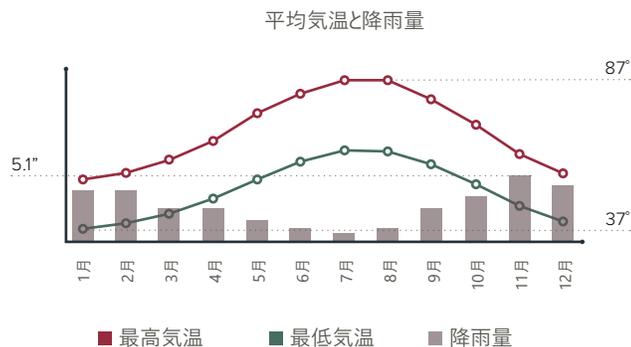
ナパヴァレーは世界的にも最も多様な土壌に恵まれたワイン産地の一つです。高級ワイン用ぶどうの質は何よりもまず土壌が決め手となります。ナパヴァレーには、地球上に存在する半数の土壌目があり、100を超える土壌種と33の土壌統があります。

ナパヴァレーの気候は地中海性気候に分類されますが、地球上で地中海性気候に属しているのは地表の2%のみです。長い栽培期間中に雨はあまり降らず、海から日常的に発生する霧の影響で昼と夜の間に寒暖の差が生まれます。こうした環境の中でぶどうの実は均一にゆづりと熟し、甘味と酸味のバランスが絶妙なぶどうができます。夏に雨が少なくて年ごとの品質のばらつきや病害のリスクが抑えられます。

ナパヴァレーは起伏に富んだ地形をしています。海拔ゼロメートルの南の河口もあれば、扇状地を形成するナパ川沿いの谷床平地（ヴァレーフロア）、そしてなだらかな丘陵地（ヒルサイド）は高度900メートルに迫る両側の山脈までかけ上がります。ナパヴァレーでは肥沃な谷床平地（ヴァレーフロア）から標高800メートルの山の斜面までぶどう畑が広がっています。

2% ナパヴァレーは地表で2%しかない地中海性気候に属しています

50% 世界の土壌目の50%をナパで見ることができます





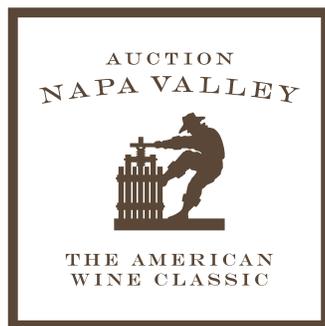
オークション・ナパヴァレー

ナパヴァレーヴァイントナーズの主催するオークションナパヴァレーは、今や世界で最も有名なチャリティワインイベントです。これは、モンダヴィ夫妻（ロバートとマルグリット）が数軒のワイナリー経営者に声をかけて1981年に開催したのが始まりでした。

オークションナパヴァレーはナパヴァレーのワイン、美しい景色、ワインの造り手の温かいおもてなし、創意工夫を凝らした料理を味わいながら、希少価値の高いナパヴァレーのワインを競り落とすという、一生に一度の体験を楽しめるようなイベントです。

4日間にわたる祭典では、ワインの造り手が主催するプライベートパーティー、樽から直接試飲をして入札に参加するバルレオークション（一点物のワイン商品が100点以上出品されます）、世界中どこにいてもオンラインで入札に参加できるEオークション、格調高いメドウズナパヴァレーリゾートで毎年開催される大迫力のライブオークションセレブレーションなどさまざまな企画が催されます。

ナパヴァレーヴァイントナーズは今日までに累計で1億8千万ドル以上のオークションナパヴァレーの収益をナパ郡の地域住民のために寄付してきたナパヴァレーで暮らす人々の予防医療や児童の早期教育のために活動する25の中心的な非営利団体や戦略的な取り組みに対して毎年資金を提供しています。



1981

ナパヴァレーワイン
オークション開始

\$180

1億8千万

ナパヴァレーヴァイントナーズはオークションナパヴァレーを通じて累計で1億8千万ドル以上をナパ郡の非営利団体に寄付してきました



napa valley vintners

P.O. Box 141, St. Helena, CA 94574
www.napawine.jp



プルミエ・ナパヴァレー

プルミエナパヴァレーのワインはナパヴァレーのワインの中でも最も高い品質を誇る希少なワインのコレクションです。各銘柄ともに生産されるのは、60本から多くても240本のみと非常に限られ、その年にしか造られません。プルミエナパヴァレーのワインはナパヴァレーのワインを生産者に代わって得意先に提供する役割を担うワイン専門店・レストラン・プライベートクラブのオーナー・卸売業者・輸入業者など、ワイン業界関係者のみを対象に販売されます。プルミエナパヴァレーは1997年から開催されています。

プルミエナパヴァレーのワインは、毎年2月に開催されるナパヴァレー・ヴィンターズ主催のプルミエナパヴァレー・パレル・テイスティング & オークションでお披露目と試飲が行われ、続いて約225のユニークな少量生産品がライブオークションとオンラインオークションを通じて販売されます。入札に参加できるのは事前に登録を済ませたワイン業界関係者のみです。

プルミエナパヴァレーが開催される前の1週間はナパヴァレー・ワイン業界にとって最高の週と言われ、1000人規模のワイン専門家が一堂に会してネットワーク作りをしたり、ワインを試飲したり、新たな知識を仕入れたり、近日常に市場で販売されるナパヴァレーのワインを事前評価したりします。

1997 プルミエナパヴァレー初開催



PREMIERE NAPA VALLEY



60, 120, 240 1口あたりの本数

プルミエワインはナパヴァレーでも最も希少なワインです



napa valley vintners

P.O. Box 141, St. Helena, CA 94574
www.napawine.jp



ナパヴァレー・ヴィントナーズ について

ナパヴァレーヴィントナーズ(NVV)非営利生産者団体は1944年に7軒のワイナリーから始まり今では530を超える会員で構成されています。NVVは会員に対し一貫して最高品質のワインを造ること環境活動に率先して取り組むこと素晴らしい故郷の地ナパヴァレーに寄与することの大切さを説いてきました。

メンバーは年間の生産量が50ケースのワイナリーから100万ケースを超えるワイナリーまでさまざまです。NVV会員の80%近くは年間の生産量が1万ケース未満で95%のワイナリーが家族経営です。また顔ぶれも、伝説的なワイナリーからナパヴァレーに登場したばかりの新しいワイナリーまで、多彩な構成となっています。

NVVはナパヴァレーの振興保護強化に努めることを使命として掲げ活動しています。私たちは力を合わせてナパヴァレーを世界に名だたるワイン産地として確立せしめ、将来の世代のために守り強化していきます。

これからもNVVはナパヴァレーのワイン業界の代弁者として、マーケティングプログラムや業界擁護活動さらには会員のリソースを通して、世界中の消費者、ワイン業界関係者、およびメディアに発信を続けていきます。そしてナパヴァレーの地で造り手にとなくてはならない同業者団体であるよう努力していきます。

530+

現在のワイナリーの会員数

<1万

NVV会員の80%近くは年間のワイン生産量が1万ケース未満



1944年に7人のワインの造り手で発足